

おわりに

西谷のこれから

このガイドブックでは、西谷の歴史から現在の里山保全活動に至るまで、さまざまな側面をたどってきました。かつては人々の生活やなりわいに山々が使われ、里山には多くの意味がありました。そして今は都市部に暮らす人々が、自然と触れ合い、学ぶための場としても里山の魅力を見出しはじめています。



桜の名所やダリアに牡丹、新緑や紅葉の山々が楽しめる風景、四季を通して西谷の景観は大変美しく、観光で訪れる価値のある場所となっています。また同時に受け継がれてきた文化や伝統、里山だからこそその生物多様性を維持するためにも、西谷と交流をもつ人がどれだけ増えていくかが、これからの西谷にとって重要となるでしょう。

この土地のもつ固有の価値を守り高めていこうと、西谷に多くの専門家やボランティアが関わっていることは、このガイドブックの中でも紹介してきました。兵庫県立宝塚西谷の森公園や（map.B3）西谷ふれあい夢プラザ、宝塚ダリア園や牡丹園（map.B2）なども新たに人々に訪れてもらうきっかけの場所となっているようです。近年は地域外からの若手の農業就業や移住、西谷をフィールドとした活動も増えています。

まずは西谷を訪れてもらい、交流を深めていくことが重要です。農地を活用しながら太陽光発電を行うソーラーシェアリングは、地域外からの農家の参入を受け入れるきっかけともなっています。また、地域内外の人がともに、西谷の魅力を発信するための活動も広がりを見せています。こうしてひとり、またひとりと西



谷で活動を始める人が少しずつ増え、活動を始めた人同士や地域内外の交流も生まれることで、西谷の未来を語ることや継承が少しずつ可能になっていくはずです。

未来へ繋ぐ

このガイドブックの発行にあたり、これからの西谷への展望、西谷を未来へ繋いでいくための取り組み、そして地元住民の想いを西谷自治連合会の西田均会長と西谷地区まちづくり協議会の小中会長に伺いました。

西谷自治会連合会 西田 均 会長

西谷の魅力はなんと言っても豊かな自然と里山の風景。しかし、車が普及し、道路が良くなり、都会へ近くなったことで、生活は変わりました。都会へでてお金を稼ぐようになり、地域外へ出る人が増えました。人口減少は西谷にとって、今後大きな問題です。

先祖が守り残してきたこの都会に近い自然を後世に残していくために、新しいことを取り入れ、守る部分は守っていく必要があります。

農業については、今後人口減少により耕作放棄が増える恐れがあります。農地を守るため、集落営農などを取り入れ、より効率的に農業を行っていこうとしています。また、農作物に付加価値をつけ、差別化するような取り組みも行っています。

今後さらに、地域の住民だけでなく、阪神間の方にも守りたいと思ってもらえるような取り組みが必要だと思っています。西谷の良さを未来に繋げるよう、都会に近い西谷の自然、歴史や文化の魅力を伝えていきたいと思います。

西谷地区まちづくり協議会 小中 和正 会長

西谷には、自然や人、文化、歴史などの魅力的な資源がたくさんあります。自然については積極的な保全活動を行い、魅力を再発見してもらうように発信することで、「阪神間の西谷」になり、たくさんの人に参画してもらえるような地域にしていく必要があると思います。地域ではこれからの西谷について、議論が行われています。コンセプトをもって、地域が一丸となって行動する必要があります。健康や長生きなどもコンセプトになりうるのではないかと思います。西谷に、心身ともに健康となれる専門的施設の誘致を行い、この施設と地域住民が連携して取り組めば西谷のみならず、宝塚市としても大きな発信力のある地域になるのでは……

例えば、上佐曾利地区のダリア栽培は90年の歴史を誇り、それを大事に育んできました。最近では福祉施設との連携や6次産業化、柔軟な働き方の実践などさらなる可能性に取り組んでいます。産業は就労、生きがい、そしてコミュニティを創出します。ライフスタイルの変化に対応した産業が成長すれば、移住者への支援や地域の活性になるのではと思っています。

都会から近い西谷の今ある資源を活かし、他地域との繋がりを深めていくことで、多くの人が関わる地域になる必要があると思います。

西谷全域マップ

●北摂里山 30

- ## 1. 松尾湿原



- ## 2. 宝塚市立宝塚自然の家



- ### 3. 兵庫県立宝塚西谷の森公園



- #### 4. 丸山濕原群



- ## 5. 桜の国亦楽山莊

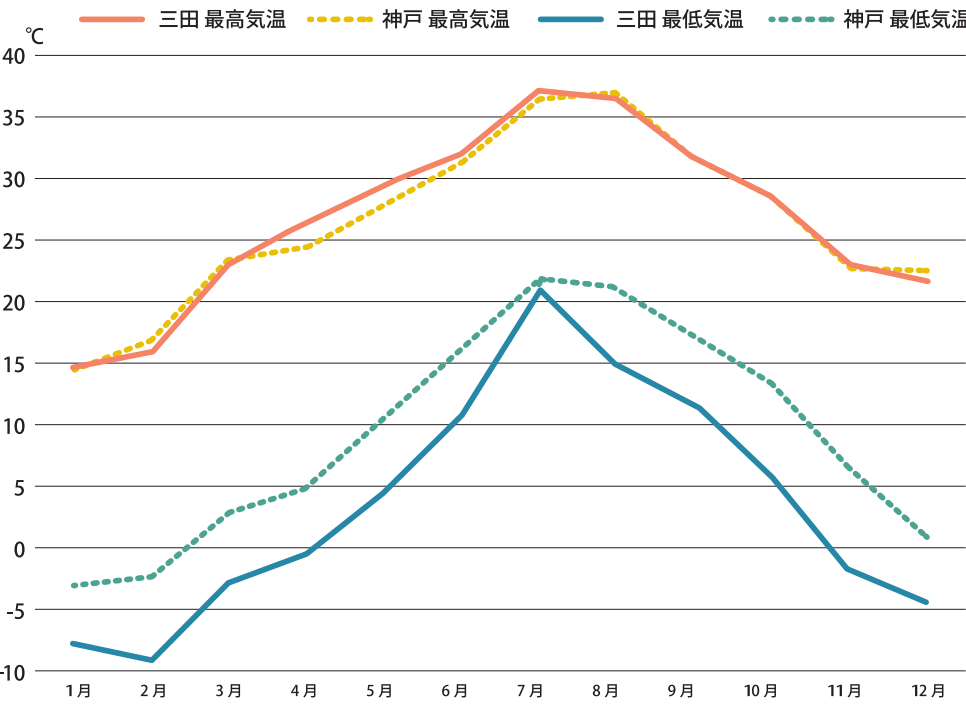


基礎資料

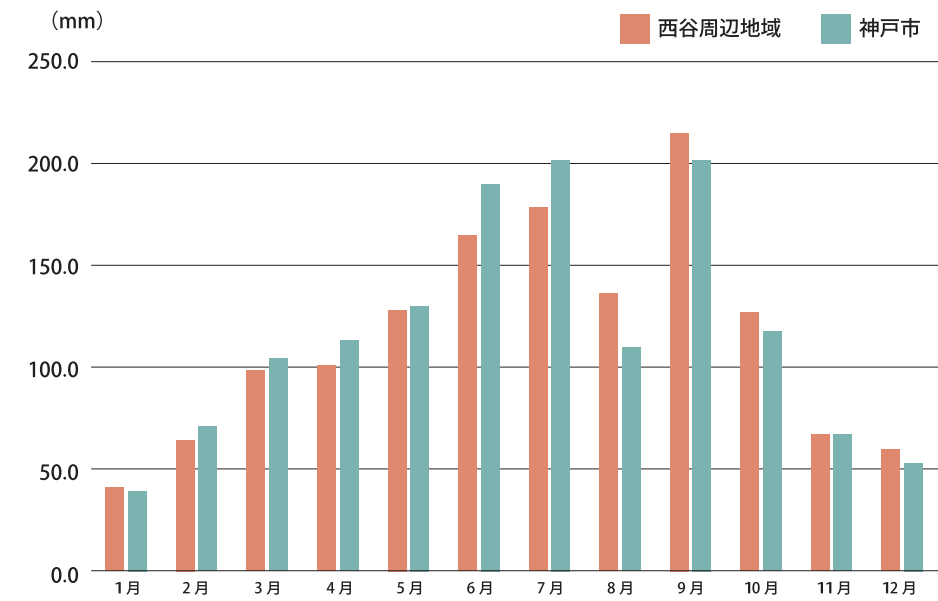
西谷の気候

瀬戸内海側平野部の神戸市と比較すると、降水量はほぼ同じ、気温は朝晩の寒暖差が大きく、冬は寒いです。
(気象観測点が西谷にはないため、近隣地で約 8.7km 離れた場所にある三田市の気象データを採用しています。)

西谷周辺の気温



年間降水量 (平成 20 ～ 30 年 平均)

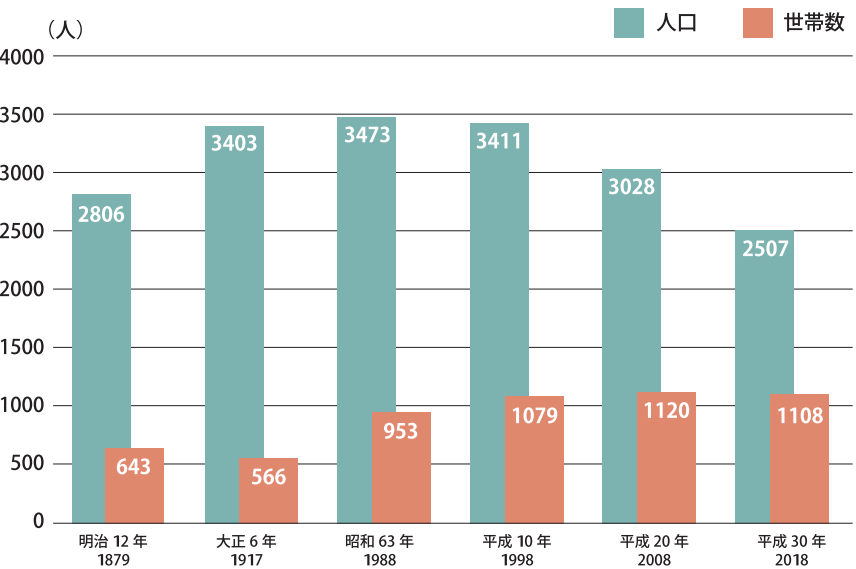


出典
気象庁ホームページより
観測点のある兵庫県神戸市・
三田市を比較

西谷の世帯数と人口の推移

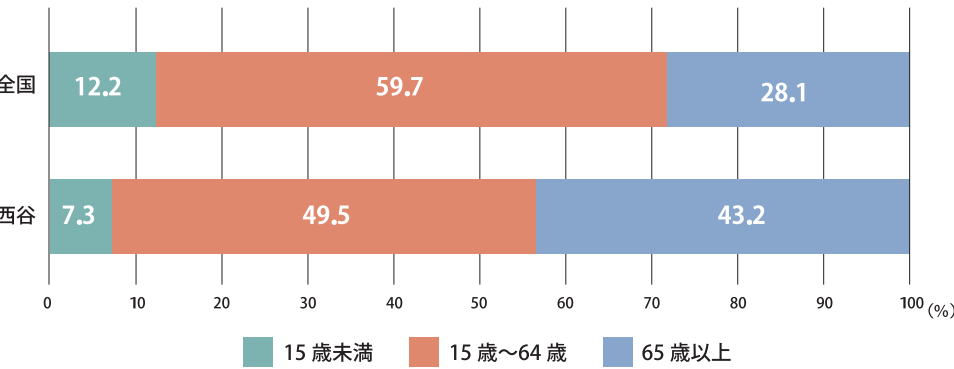
人口の減少が進み、全国平均に比べて高齢化率も高くなっています。
(表は宝塚市が公開している統計データを元に作成しています。)

西谷の世帯数と人口の推移



出典
明治 12 年：宝塚市史
※一部明治 14 年のデータを使用
大正 6 年：兵庫県統計書
大正 6 年 第 1 編
昭和 63 年～平成 30 年：
宝塚市提供

平成 30 年度の世代別人口構成比



出典
全国：総務省統計局人口推計
平成 31 年 2 月報より
西谷：宝塚市 平成 30 年 町別
年齢 (5 歳階級) 人口



北摂里山 西谷案内人ガイドブック

ご協力をいただいた方

西谷自治会連合会
西谷地区まちづくり協議会

西谷地区の皆様

武田 義明 神戸大学 名誉教授
丑丸 敦史 神戸大学人間発達環境学研究科 教授
足立 勲 自然体験教育研究所 主宰
直宮 憲一 宝塚文化財ガイドソサエティ 顧問
白石 太良 流通科学大学 名誉教授
藤原 喜美子 流通科学大学人間社会学部観光学科 准教授

宝塚市自然保護協会
丸山湿原群保全の会
宝塚エコネット
にしたによいしょ
宝塚にしたに里山ラボ

宝塚市
宝塚市教育委員会

写真提供 宝塚市（西谷フォトコンテスト）、にしたによいしょ、宝塚にしたに里山ラボ